

【棚田班の活動】

私たち環境A班は、総合学習の時間に香美町小代区にあるうへ山の棚田保全のお手伝いをしています。ここは日本の棚田100選にも選ばれていますが、少子高齢化によりこの景観を維持することが困難になりつつあります。そこで地元の若者が立ち上がり、「武勇田」というグループを結成して棚田保全に乗り出されました。私たちも一助となるよう参加させて頂いていますが、逆に多くのことを学ばせて頂いています。

生徒の感想文を読んでいただいて、

棚田体験（田植え・草取り・稲刈り）に参加してみたい

武勇田米を購入してみたい

と思われた方は

⇒「俺たちの武勇田」(<http://uheyamamai.com/>)



「武勇田」の小林さんの講義



棚田米が美味しい理由・平坦地で作られたお米との違いなどを調べ中

（1年生）

○最近の田植えは手作業することはほとんどないので、体験できてよかったです。手作業には、作り手の様々な思いが詰まっています。苗は一見すると草のように見え、「これが本当に稲になるのだろうか？」と不思議でしたが、私も美味しいお米になるよう願いを込めて植えました。作業中は、先輩や先生、近所の方々とお話しできて良い機会にもなりました。

田んぼの中には、たくさんの生物がいます。その生物がおいしい米を作るのを手伝ってくれています。だから、ごみのポイ捨てなどによって水を汚してはいけないことを学びました。○武勇田の小林さんからうへ山の棚田米への想いや武勇田についての講義を受け、また実際に田植えをして気付いたことがあります。それは、米作りにはたくさんの手がかかっている、苦労して作り上げているということです。初めての経験で楽しく、苦労しましたが達成感がありました。

○最初の講演の時、ビデオで見た棚田の圧倒的な美しさに魅了されました。実際に行ってみると、迫力を感じました。また小林さんからのお話から、本業で忙しいにもかかわらず棚田を守っていききたいという武勇田の方々の強い気持ちを知りました。

僕は、小学生の頃一度だけ家の田植えを手伝ったことがあります。その時は長靴で田んぼに入り変な感触でしたが、今回は裸足での作業だったので水がひんやりとして気持ちよかったです。田植えは慣れていない僕には難しく、きれいに植えることが出来ませんでした。でも終わってみると達成感が半端なくて、なんか嬉しかったです。小代の人たちの棚田保全に対する強い意志に、大変共感できました。



手作業でする田植えで腰が・・・



草取り中・・・草と稲の見分けが困難

(2年生)

○棚田班として活動して学んだことは、「米作りは大変な苦労がある」ということでした。僕たちが体験したことだけではなく、水田準備や水量調整、定期的に見回り点検する等、様々なことがあり大変だと聞きました。しかし、それだけの苦労に値する利益が得られないそうです。それでも続けられているのは、毎年お米を喜んで購入される方がおられること、そしてこの棚田を守りたい気持ちからだとなりました。この活動に参加させて頂き、米の大切さを改めて感じる事が出来ました。今年も1年間これらのことを心に留めて活動していきたいと思います。



平成29年度の稲刈り作業



学校のグラウンドに刈った稲を干しちゃいました

(3年生)

○私の家もお米を作っています。昔は手伝っていましたが、今は手伝っていません。武勇田の方のお話を伺って、自分たちがお米を食べられるのは苦勞されている人がいるからだと分かり、家の田植えを手伝いたいと思うようになりました。

○昨年から棚田班で活動していたので、大体の内容を理解できていました。しかし、初めての1年生に指導したり、自分たちの作った米の販売戦略を考えるのが大変でした。販売対象やパッケージの名前を考えたりするのは苦勞しましたが、自分たちが作った米の成長を見るのは大変いいものだと思います。

○今まで武勇田のことはほとんど知りませんでした。しかし、小林さんのお話を聞き、全員が協力して作ったお米は本当においしいんだろうなと思いました。なので、もっとこの棚田米が広まって欲しいと思います。そのために、村高からも全国にアピールしていきたいと思いました。

○昨年初めて棚田班に入り、田植え・草取り・稲刈りを体験しました。田植えは武勇田の小林さんに一から教えて頂きながら、機械ではなく手で一本一本心を込めて植えました。小学校以来だったので楽しくできました。プレスリリースや米のパッケージ制作では、自分たちの考えが形になるなんて思っていませんでした。しっかりと考えて、良いものにしたいと思います。まだお米の試食をしたいので、早く食べたいです。

○田植え体験は、すべて手作業でとてもしんどかったです。僕は、普段お米を美味しいと言って食べています。こんなに苦勞して作って下さる方々に感謝しないといけないと思いました。また今僕たちが頑張っているから、秋に収穫したお米は余計に美味しく感じるだろうと思うと、今からとても楽しみです。だから、草取りや稲刈りも協力して頑張ります。

○初めての田植えは、田んぼに入るのに勇気が要りました。苗を植えるのにロープの決められた位置にまっすぐに植えられなかったり、移動でこけそうになったり、大変苦勞しました。見ているのと実際にやるのでは全く違うなど、思いました。毎年お米を作っている人は、こんなに大変なことをしていたのだと知りました。

生徒の感想文を読んでいただいて、

棚田体験（田植え・草取り・稲刈り）に参加してみたい

武勇田米を試しに購入してみたい

と思われた方は

⇒「俺たちの武勇田」(<http://uheyamamai.com/>)

